資金分配団体 審査会議 議事概要

緊急枠 第 2 次

1. **日時：**2025 年 12 月 5 日（金）開会 10：00－閉会 11：00

2. **場所：**東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
JANPIA　事務所内　大会議室、Zoom

3. **審査委員（敬称略）**
・永沢 映 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事〈議長〉
・米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス 代表
・山本 未生 一般社団法人 World In You 代表理事
・中嶋 弓子 任意団体 東京おでかけプロジェクト 代表
・渡邉 さやか 長野県立大学 ソーシャル・イノベーション研究科 准教授
・審査事務局：JANPIA

4. **議題**

2025 年度 緊急枠第 2 次

5. **申請の状況**
3 事業

6. **議事の前提**
- 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. **議事要旨**
審査委員 5 名の出席により、永沢審査委員が議長を務め、審査を行った。 議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申

告はなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・なし

審査

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 2 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 特定非営利活動法人 福岡災害レジリエンス研究室
ナレッジのシェアや実施体制について、幹事団体の災害支援の専門性を活かした事業実施を期待する。

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの懸念事項が示された。そのため、推薦にあたって一定の条件を付すこととし、当該団体と JANPIA 事務局との面談において当該条件を満たすことが確認された場合に推薦することとした。

■ 一般社団法人 居住支援全国ネットワーク
支援ニーズの高い地域・テーマを対象としているものの、実行団体 1 団体あたりの事業規模が大きく、複雑性の高い支援内容を短期間で実施することへの難易度への懸念がある。これを踏まえ、実行団体の採択数を絞り、パイロット的事業として実施する方向で見直すことを条件とする。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 1 事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク

以上